

鹿児島を代表する
ブランド豚を育てる

大隅南地区にある有限会社アオキ畜産で養豚を行っている青木宏和さん。家族や従業員含めて6名で約2000頭の豚を飼養しています。鹿児島黒豚生産者協議会の会員で銘柄豚「かごしま黒豚」を出荷しています。

■就農した経緯は？

実家は祖父の代からの養豚農家でした。そのため豚は身近な存在で、子どもの頃からお手伝いもよくしていました。中学生の時にはすでに「将来は養豚をしたい」と考えていました。その後農業高校に入学し、一時は養豚関係の企業に就職しましたが、3代目になるために十代のうちに実家で就農しました。

■仕事内容は？

全体で約2000頭いる豚のうち200頭は母豚です。交配は人工授精です。おもにその業務を担当しています。1頭の雄豚から約20回分の精液を採取し授精することで、雄の頭数が少なくてすみ、安定して子豚を産ませることが出来ます。

■心がけているポイント

機械でできることは機械に任せて、人間は豚の管理がしっかりとできるように、積極的に機械化を進めています。エサやり・除糞はすべて機械化しています。また従業員と仕事を補い合って、いつでも休みを取れるようにしています。土日も最低限の作業だけに行っています。生き物相手なので毎日仕事はありますが、だからこそバタバタしないように心がけています。

■今後の目標は？

古くなってきている豚舎があるので、作業効率を上げられる新しい豚舎に更新しながら、規模拡大をしていきたいです。また養豚農家は臭い・休みがない・きついといった考えがあるかと思いますが、そんなイメージを払拭していきたいと思っています。「かごしま黒豚」は鹿児島県の宝なので、若い人が養豚をしたいと思ってもらえたり、社員がこの農場で働き続けたいと思える会社にしていきたいです。

輝く！ヤングワーカー

有限会社アオキ畜産
養豚農家 就農16年目

あおきひろかず
青木宏和さん



曜日	月	火	水	木	金	土	日
行動	・人工授精用の精液採取	・出荷 ・人工授精	・出荷 ・人工授精	・離乳のため子豚を母豚から離して移動させる		・エサやり ・見回り ・分娩 ・豚舎の水洗い	

一週間のスケジュール